

第3章 将来像と目標の設定

本企業団が抱える様々な課題について、一つ一つ計画的に解決していくために、本企業団のあるべき姿（「将来像」）、「目標」および「実現方策」を次のとおり設定しました。

「将来像」は、長期的視点に立った本企業団の理想像であり、「安全な水を 安定して供給できる 持続可能な水道」とし、現在、日常生活で利用している水道を、今後50年間変わらずに利用できることを目指していきます。

「目標」は、将来像を達成するために、厚生労働省の水道ビジョンにある「安心・安定・持続・環境」の4つの視点で整理した本企業団が掲げていく具体的な方針となります。

「実現方策」は、各目標の中で当面実施する具体的な方策（内容）となります。

将来像 ● 安全な水を 安定して供給できる 持続可能な水道

安心

目標 安全・安心なおいしい水の供給

- ◆浄水^{*}処理等の充実による安全性の向上
- ◆水安全計画の策定等による水質管理の充実
- ◆給水装置^{*}の安全性の確保

目標 いつでも安定した水の供給

- ◆計画的な管路・施設の耐震化
 - ◇重要度に応じた計画的な管路の耐震化
 - ◇重要度に応じた計画的な施設の耐震化
- ◆効率的かつ安定した水運用の確保
- ◆危機管理対策の充実

安定

持続

目標 いつまでも継続できる水道経営

- ◆施設の統廃合等による将来更新負担の軽減
 - ◇浄水場・配水池の統廃合
 - ◇アセットマネジメントによる施設更新費用の軽減
- ◆経営の効率化
- ◆水道サービスの向上
- ◆業務の効率化

目標 環境にも配慮した水道

- ◆有収率^{*}の向上
- ◆省エネルギー対策

環境